

(5 都市の魅力高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位: 千円]

5 都市の魅力高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資

17項目 2,918,900

<都市計画局>

①「歩くまち・京都」総合交通戦略の推進 334,200

22年1月に策定した「歩くまち・京都」総合交通戦略は, ①既存の公共交通の利便性向上, ②歩行者優先のまちづくり, ③歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換(「スローライフ京都」^{プロジェクト}大作戦)の3つを柱に, 脱「クルマ中心」社会のモデル都市の形成を目指し, 人と公共交通優先の「歩くまち・京都」を実現するための88の実施プロジェクトを掲げている。25年度は, 以下の事業を実施する。

◆「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進 7,000

京都の魅力と活力が凝縮した歴史的都心地区(四条通, 河原町通, 御池通, 烏丸通で囲まれた地区)を中心とした「まちなか」において, 人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向け, 「歩いて楽しいまちなか戦略」を推進している。

25年度は, 四条通の歩道拡幅(整備は四条通歩道拡幅事業: 建設局(後掲))と公共交通優先化に向けてタクシー及び物流車両等による沿道利用の整序化を図るための検討を行うとともに, 歴史的都心地区における路外荷捌きを推進する。

◆「歩いて楽しいまちなかゾーン(仮称)」の推進 40,700

歩道整備が困難な都心の細街路において, 安全でゆとりのある歩行空間を確保するため, 幹線道路に囲まれた地域を「歩いて楽しいまちなかゾーン(仮称)」と設定し, 交通管理者等と連携して, ゾーン対策を実施する。

25年度は, 24年度に引き続き, 歴史的都心地区を対象として対策を実施し, ゾーンの明示を完成させるとともに, 四条通南側の交通調査を実施する。

対策内容 ゾーンを明示する看板の設置等(都市計画局) 4,300

車線幅員の狭小化(路側帯の拡幅), 自転車通行区分の明示(建設局)

36,400

◆「歩いて楽しい東大路」歩行空間創出事業 50,000

24年8月に策定した「東大路通整備構想」に基づき, 東大路通の道路空間再配分において課題となる周辺道路への交通の影響等について検討するため, 東大路通及びその周辺道路の調査及び予備設計を実施し, 関係機関との協議を行うとともに地元や市民の皆様への説明を行う。

(5 都市の魅力を高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位: 千円]

- ◆駅等のバリアフリー化の推進 29,000
23年度に策定した「「歩くまち・京都」交通バリアフリー全体構想」に掲げる重点整備地区(10地区・11旅客施設)のバリアフリー化を推進する。
25年度は, 24年度に基本構想を策定予定の2地区の駅施設(JR太秦駅・阪急大宮駅)のバリアフリー化事業に補助金を交付する。また, 駅ホームにおける旅客の安全対策のため, JR山科駅の内方線付き点状ブロックの整備に補助金を交付する。
- ◆京都駅南口駅前広場の整備 167,500
京都駅の南口駅前広場について, 交通結節機能の向上や, 安全で快適な歩行者空間の創出等により, 国際文化観光都市である「歩くまち・京都」の玄関口にふさわしい駅前広場に整備するため, 25年度は, 調査・設計及び地下機械式駐輪場の整備工事を行う。
- ◆京都駅北口駅前広場における交通施設整備 25,000
京都駅北口駅前広場において, 公共交通の乗継利便性の向上や安全で快適な歩行者空間の充実を図るため, 交通事業者が実施するタクシー乗降場付近の上屋設置及びバリアフリー化に対して補助を行う。
なお, 広場機能をさらに充実させるため, 24年度当初の計画から上屋の整備箇所を変更して実施するものである。
- ◆京都のまちにふさわしい公共交通検討調査 10,000
「歩くまち・京都」の推進のためには, 誰もが便利で快適に利用できる総合的な交通体系を構築することが重要であることから, 既存交通の結節・利便性の向上策と, 中長期的な視点に立って, 京都のまちにふさわしい公共交通のあり方を幅広く検討するための調査を行う。
- ◆ロードプライシングをはじめとした自動車流入抑制策の検討 5,000
道路混雑の激しい地域等の自動車交通量を抑制する手法として, 特定の地域に進入又は通行する車から料金を徴収するロードプライシングについて, 学識者の知見や関係機関の指導等を踏まえ, 研究を進める。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

[建設局 調整管理課 TEL 222-3568]

(5 都市の魅力を高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位: 千円]

②リニア中央新幹線の誘致促進 5,000

リニア中央新幹線「京都駅ルート」の実現, 東京・大阪間全線の一体的かつ早期開業及び関西国際空港へのリニア延伸によるアクセス改善に向け, 「京都府中央リニアエクスプレス推進協議会」に分担金を支出し, 国等に対する要望活動や市民意識の高揚を目指した広報啓発活動等を行う。

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

③JR奈良線高速化・複線化第二期事業 19,300

JR西日本, 京都府, 沿線市町が共同して, JR奈良線の高速化・複線化第二期事業を推進するため, 25年度は, 環境影響評価等を実施する。

- 事業費 150百万円
- 京都市負担 沿線市町負担分 50百万円のうち, 38.4%

[都市計画局 歩くまち京都推進室 TEL 222-3483]

④付置義務駐車場の弾力的な活用による自動二輪車駐車場確保に関する検討業務 2,300

自動二輪車の地域別, 建物用途別の駐車実態等を調査し, その結果を踏まえて付置義務駐車場の特例(付置義務駐車場の一部を自動二輪車用に選択する方法)など, 自動二輪車対策の検討を行う。

[都市計画局 都市計画課 TEL 222-3505]

⑤先斗町町並み調査事業 6,500

先斗町地域の賑わいと風趣ある景観を保全するため, 地域住民との連携を図りながら, 京都市市街地景観整備条例に基づく界わい景観整備地区として指定及びその整備計画を策定し, 当該地域の景観形成につなげる。

- 年次計画 25年度 基礎調査
- 26年度 界わい景観整備地区指定, 整備計画策定

[都市計画局 景観政策課 TEL 222-3397]

- (5 都市の魅力を高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位: 千円]

⑥屋外広告物対策事業 121,500

経過措置期間が終了する平成26年8月までに, 市内全域の違反状態の解消に向け, 屋外広告物対策の取組を加速させる。

◆屋外広告物制度の定着促進 5,800

屋外広告物制度の周知と, 許可取得推進のため, 屋外広告物の許可を得た事業所に対して認証ステッカーを交付し, 本市の屋外広告物制度の適正な事業所であることを証する認証制度を創設する。

◆違反広告物の是正のための指導の強化と支援策の充実 113,700

指導充実のための体制強化を行い, 違反屋外広告物の是正の取組を加速させる。また, 許可を得た屋外広告物及び掲出事業者に関する情報を周知できるホームページの作成を行う。

◆京都にふさわしい広告物の普及促進と市民・事業者との共汗による取組の推進

2,000

市民等の屋外広告物に対する意識醸成のため, 屋外広告物印象評価アンケートを実施する。また, 優良な屋外広告物を増やすため, 広告主・広告業者・広告デザイナーに対するデザイン面での支援を検討する。

全体事業費 780百万円

(局配分枠 638百万円, 政策的新規・充実事業予算枠 122百万円, 雇用対策事業特別会計 20百万円)

[都市計画局 市街地景観課 TEL 708-7690]

⑦新たな崇仁地域のまちづくり 103,400

「京都市崇仁地区将来ビジョン」に基づき, 新たな崇仁地域のまちづくりの実現に向け, 以下の事業を実施する。

◆崇仁塩小路高倉新3棟(仮称)の建設 89,400

従前居住者のための改良住宅建設等を実施する。

戸数 52戸

整備期間 25～27年度

総建設費 1,024百万円

◆「創造・交流・賑わいのまち」崇仁 実現のための調査 14,000

創造的な人材が集まる核となる施設の導入の検討など, 今後の用地活用検討のため, 区画整理第二地区等の基礎調査及び用地測量に着手する。

[都市計画局 すまいまちづくり課 TEL 222-3635]

(5 都市の魅力を高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位: 千円]

⑧三条鴨東地区事業計画変更 4,000

三条鴨東住宅地区改良事業について, 市内中心部に近く交通至便な立地環境にある当該地区の特性を踏まえた土地利用の最終形を決定するため, 地域のポテンシャルを最大限に生かした土地利用計画となるよう, 事業計画の見直しを行う。

[都市計画局 すまいまちづくり課 TEL 222-3635]

【局配分枠における主な新規・充実事業(都市計画局)】

[充実事業]

◇屋外広告物対策 全体事業費 779,789(うち充実分 613,629)
(政策的新規・充実事業予算枠 121,500 局配分枠 638,289 雇用対策事業特別会計 20,000)

<建設局>

⑨四条通歩道拡幅事業 429,000

京都の魅力と活力が凝縮した歴史的都心地区(四条通, 河原町通, 御池通, 烏丸通で囲まれた地区)を中心とする「まちなか」において, 人と公共交通優先の「歩いて楽しいまちなか戦略」を推進するため, 四条通(四条大橋東詰~烏丸通)の歩道拡幅と道路形状の公共交通優先化を実施し, 安心・安全な歩行空間の確保と, 路線バスの利便性向上を図る。

年次計画 25~26年度 整備

[建設局 道路環境整備課 TEL 222-3570]

⑩無電柱化事業 200,200

豊かな自然と優れた文化遺産, 伝統的な町並みなどの歴史的風土を保全し, 市街地景観の向上を図るため, 無電柱化を実施する。

25年度は, 銀閣寺道において新たに工事に着手する。

全体事業費(24年度2月補正予算を含む) 274百万円
(うち政策的新規・充実事業予算枠 200百万円)
(参考) 24年度2月補正予算 70百万円

[建設局 道路環境整備課 TEL 222-3570]

(5 都市の魅力高める「歩くまち・京都」の推進、個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位：千円]

⑪梅小路公園の魅力向上と周辺地域の活性化 489,400

京都水族館の開業及び新たな鉄道博物館建設計画の発表を契機に、梅小路公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、以下の事業を実施する。

◆梅小路公園の拡張再整備 350,000

梅小路公園の賑わいと憩いの場を創出するため、京都水族館と鉄道博物館予定地を結ぶ公園の中心にあたる広場を拡張再整備する。

拡張再整備の概要

- 市電車両を活用した「市電ひろば（仮称）」の整備
- チンチン電車の改良・移設
- 芝生広場、大型遊具を備えた「すざくゆめ広場（仮称）」の整備

全体事業費（24年度2月補正予算を含む） 564百万円
（うち政策的新規・充実事業予算枠 350百万円）

（参考）24年度2月補正予算 214百万円

◆梅小路公園周辺整備事業 139,400

梅小路公園周辺地域における歩行者の回遊性向上と地域活性化を目的として、七条通（大宮通～JR高架下）における安心安全な歩道整備を行う。

全体事業費（24年度2月補正予算を含む） 148百万円
（うち政策的新規・充実事業予算枠 140百万円）

（参考）24年度2月補正予算 8百万円

[建設局 建設企画課 TEL 222-3551]

[建設局 道路環境整備課 TEL 222-3570]

[建設局 緑政課 TEL 222-3589]

(5 都市の魅力を高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位: 千円]

<文化市民局>

⑫新「京都市動物園構想」の推進 1,087,200

21年度に策定した共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づく整備を推進する。

整備 管理棟・病院・救護センター, 東エントランス・ツシマヤマネコ繁殖施設,
ゴリラ舎, 学習・利便施設, 京都の森

設計 ゴリラ舎, 学習・利便施設, 京都の森, ゾウの森, 芝生広場

[文化市民局 動物園 TEL 771-0210]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(文化市民局)】

[新規事業]

◇動物園開園110周年記念事業 3,877

<総合企画局>

⑬下京区西部エリアの活性化推進事業 10,000

京都リサーチパーク, 中央卸売市場第一市場, 商店街, 文化・観光施設, 大学などが集積する下京区西部エリアの活性化を目的とした将来構想の策定に向け, 24年度に設置した「下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議」において, 引き続き, 地域資源の活用, 課題の解決方法や地域の将来像などについて議論し, 将来構想策定に向けた検討素材となる報告書を取りまとめる。

また, エリアの現況等を把握するための基礎調査を実施するほか, エリア内の施設や団体と連携したイベント開催やホームページなどによる情報発信を通じて, 民間活力を最大限生かせるネットワークの形成を図るとともに, 地域活性化に向けた機運を醸成する。

[総合企画局 政策企画室 TEL 222-3035]

⑭神宮道歩行者専用化推進プロジェクト 45,500

岡崎地域活性化ビジョンの重要方策である, 憩いと新たな賑わい空間の創出を図る「神宮道(冷泉通~二条通間)の歩行者専用化」に向け, 関連調査(測量, 交通量調査等)と整備計画づくりに取り組む。

併せて, 憩いと賑わい創出事業「京都岡崎レッドカーペット」の開催を通じて, 歩行者専用化実現への機運醸成を図る。

[総合企画局 市民協働政策推進室 TEL 222-4178]

(5 都市の魅力を高める「歩くまち・京都」の推進, 個性と活力あふれる都市づくりなど未来の京都への先行投資)

[単位: 千円]

⑮大型汎用コンピュータのオープン化の推進 8,400

基幹情報(住基, 税, 福祉等)の処理を行う大型汎用コンピュータについて, 最新技術の導入とコスト削減, 業務の効率化のため, 特定業者固有の技術で作られていない機器等への刷新(オープン化)を図る。25年度は, 効率的で経費縮減が見込める新たな開発手法での事業着手に向け, 開発経費やスケジュールなどについて, 更に検討を進める。

[総合企画局 情報化推進室 TEL 222-3257]

<市会事務局>

⑯市会広報の更なる充実 12,000

「見える市会」「伝わる市会」の実現を目指し, これまでの情報公開の推進に重点を置いた取組を発展させ, 地下鉄・市バスの車内広告等を活用した積極的な情報発信を行うとともに, 市会だよりや市会ホームページのリニューアルを行う。

[市会事務局 総務課 TEL 222-3700]

[市会事務局 調査課 TEL 222-3697]

<交通局>

⑰地下鉄駅賑わい創出事業 41,000

鉄道施設の一部を商業スペースに有効活用し「駅ナカビジネス」を展開する。25年度は, 東西線三条京阪駅に店舗区画を創出する工事を実施するとともに, 烏丸線丸太町駅の店舗区画創出に向け実施設計を行う。

[交通局 総務課 TEL 863-5031]

[交通局 営業推進課 TEL 863-5068]